

HARIO

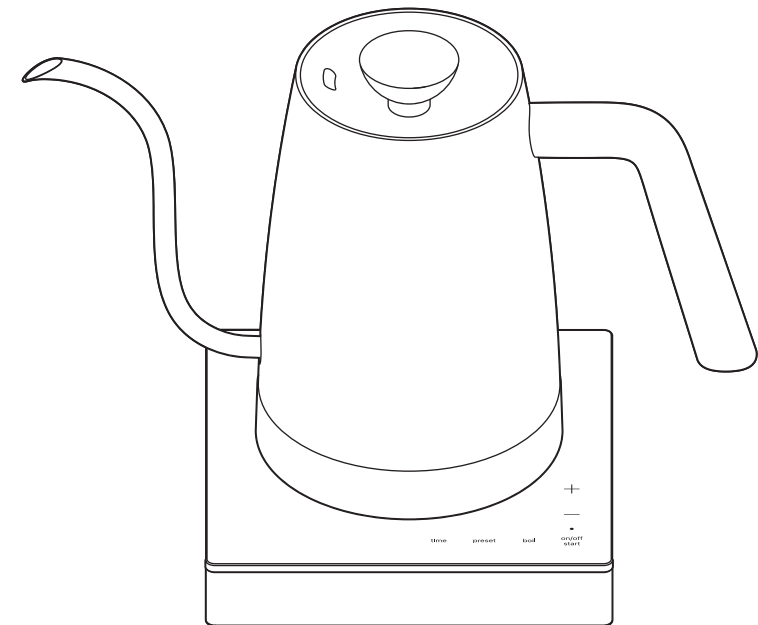
FOR USE IN JAPAN ONLY

日本国内専用

家庭用

ELECTRIC KETTLE LYRA

エレクトリックケトル ライラ



ECK-80 取扱説明書 保証書付

お買いあげ誠にありがとうございます。
正しくご使用していただくため、
この取扱説明書を必ずお読みください。
また、お読みになりましたら、大切に保管してください。



HOW TO USE

ECK-80 説明書 2410

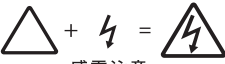
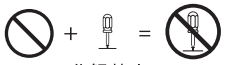
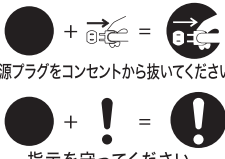
もくじ

2 ~ 6	安全上のご注意
7 ~ 8	本製品の特長
9 ~ 10	各部の名称
11 ~ 14	ご使用方法
15	お手入れの方法
16	故障かな?と思ったら
17	製品仕様
17	アフターサービスについて
18	保証書

ご使用の前に

警告マークについて

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、ご使用の際の注意事項を下欄のような警告マークで表示しています。このマークは、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさ、切迫の程度で明示するものです。それぞれの意味を十分にご理解の上、この取扱説明書をお読みください。また、これらのマークを表示してある事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

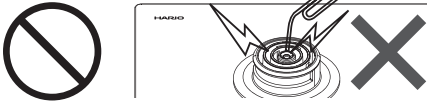
警告マークの種類	警告マークの内容
 危険	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。
例  感電注意	△ 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の例では感電注意）が描かれています。
例  分解禁止	⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。マークの中やマークに隣接する文章に具体的な禁止内容（左図の例では分解禁止）が描かれています。
例  電源プラグをコンセントから抜いてください  指示を守ってください	● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください/指示を守ってください）が描かれています。

安全上のご注意

感電・やけど・火災・故障などを防ぐために、ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

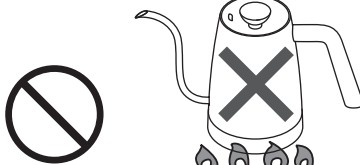
 **危険**

電源コネクタ部分はケトル本体と電源プレートとの通電部分です。金属製クリップやヘアピンなどの異物を接触させないでください。感電・ショート・発火の原因となります。



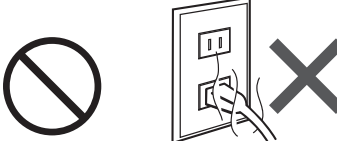
 **危険**

直火にかけないでください。



 **警告**

使用中、電源プラグ・電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止してください。



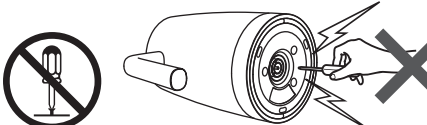
 **警告**

定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



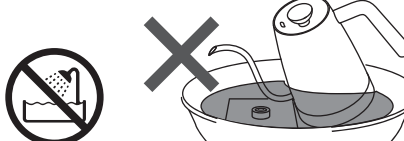
 **警告**

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。



 **警告**

ケトル本体底部や電源プレートを水に浸さないでください。感電・ショート・発火の原因になります。



 **警告**

加熱中もしくは加熱後しばらくはケトル本体胴部やフタ、注ぎ口周辺の金属部分には手を近づけないでください。やけどをする恐れがあります。



 **警告**

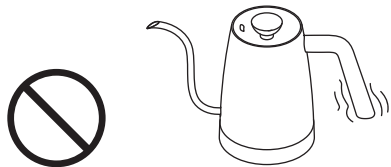
お子様に使用させないでください。また、幼児のそばで使用したり、幼児の手の届く所に置かないでください。



安全上のご注意

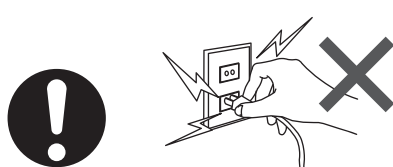
⚠ 警告

ハンドルのぐらつきなど異常を感じた際は、ただちに使用を中止し、当社のご相談窓口までご連絡ください。



⚠ 警告

交流100V以外では使用しないでください。故障・火災・感電の原因となります。



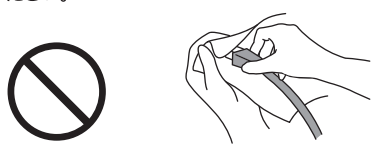
⚠ 警告

強い衝撃を与えないでください。破損・故障・短寿命の原因となります。異常を感じた場合は使用を中止してください。



⚠ 警告

電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除いてください。プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



⚠ 警告

電源コードや電源プラグがいたんでいたり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。



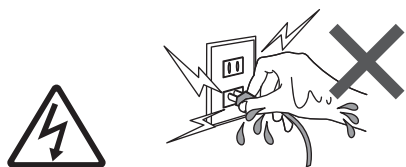
⚠ 警告

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグや緩んだコンセントは使わないでください。



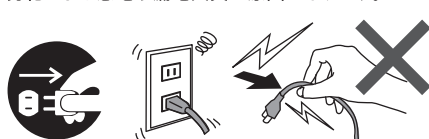
⚠ 警告

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。



⚠ 警告

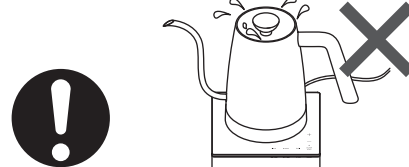
使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



安全上のご注意

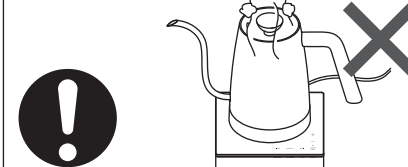
⚠ 警告

MAX目盛 (0.8L) 以上の水を入れないでください。吹きこぼれ・やけどをする恐れがあります。



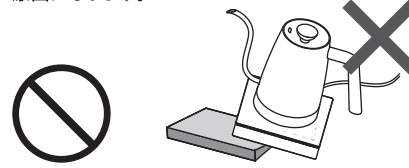
⚠ 警告

最小容量 (0.3L) 以下の水で使用しないでください。湯沸し機能が正常に働かない原因となります。



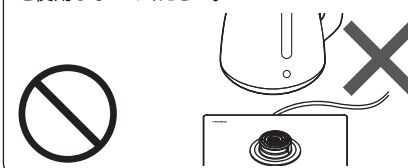
⚠ 警告

不安定な場所や熱に弱い敷物の上やカーテン等の可燃物の近くで使わないでください。やけどや故障・火災の原因になります。



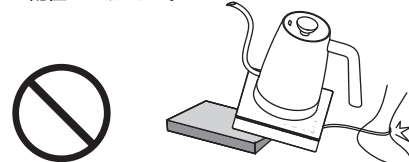
⚠ 警告

電源プレートは本製品専用です。他製品に使用しないでください。また、ケトル本体にも他製品の電源プレートを使用しないでください。



⚠ 警告

電源コードは足やものに引っかけると、本体の落下や転倒によりやけどやけがの原因となります。十分に注意して配置してください。



⚠ 警告

コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を乗せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。



⚠ 警告

フタを勢いよく開け閉めしないでください。お湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。また、ケトルを傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動したりしないでください。お湯が流れ出てやけどの恐れがあります。



安全上のご注意

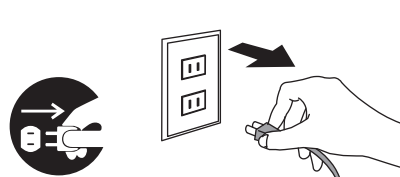
⚠ 注意

使用中、電源プレートにケトル本体をのせたまま移動させないでください。けがややけど、故障の原因となります。



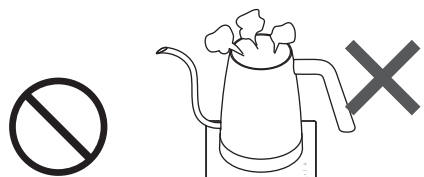
⚠ 注意

お手入れの際は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。けがの原因となります。



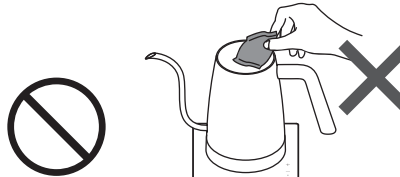
⚠ 注意

加熱中はフタを開けないでください。自動電源OFF機能や温度調整機能が正常に働かない原因になります。



⚠ 注意

水以外のものをケトル本体に入れて加熱しないでください。故障の原因となります。



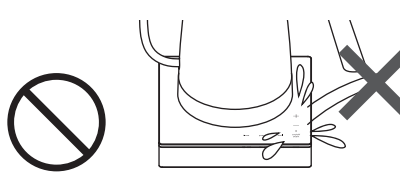
⚠ 注意

加熱中はフタを開けたり、差し水をしたりしないでください。お湯が飛び散ったり、高温の蒸気による、やけどの原因になります。



⚠ 注意

操作パネルに水をかけたりしないでください。ショート・感電・故障の原因となります。



⚠ 注意

注ぎ口の先端は鋭利になっています。お取扱い、お手入れの際は注ぎ口の先端でけがをしないように、ご注意ください。



⚠ 注意

水、またはお湯の入っていない状態で電源ボタンを押さないでください。空だき防止機能が働き電源が切れますが、金属プレート部分が熱くなり、やけどや故障の原因となります。



安全上のご注意

⚠ 注意

長時間直射日光が当たる場所、ペットなどが通る場所、浴室などの湿気の多い所では使用しないでください。本体の変形、故障、事故、火災の原因となります。



⚠ 注意

壁や家具の近くでは使わないでください。また、上にモノをのせて使用しないでください。熱や蒸気による変色・変形の原因となります。収納棚などの中で使用するときは蒸気がこもらないように注意してください。



⚠ 注意

破損した際のお取扱いは、ケガをしないよう十分ご注意ください。廃棄する際は、各自治体の指示に従い分別してください。



本製品の特長

ゲースネック形状の注ぎ口

細長くカーブを描いた注ぎ口は、コーヒー粉に近づくことができ、プロのような繊細な注ぎを可能にします。

1℃単位の温度調節機能

美味しいコーヒーには欠かせない抽出温度の管理が簡単に行えます。38℃から100℃まで1℃単位の温度設定が可能です。

保温機能・KEEP機能

加熱後、設定した温度で15分間保温されます。沸いてすぐに使わなくても、設定した温度でスタンバイしてくれます。電源プレートに本体を戻すたびに設定温度まで自動で加熱するKEEP機能も備えています。

ミュート機能

操作音・通知音の有無をお好みで切り替えることができます。

摂氏/華氏 表示切替機能

温度表示の摂氏(℃)と華氏(°F)を切り替えることができます。

ワンタッチ沸騰機能

沸騰したお湯が欲しい時、ボタン一つで沸騰させることができます。

プリセット機能

お好みの設定温度を5つまで保存でき、よく使う温度に素早く設定することができます。

パッキン付きのフタ

フタには着脱がしやすいようにパッキンがついています。フタツマミはフラット形状なので、逆さまに置いても安定します。

握りやすいハンドル

様々な握り方にフィットするようにデザインされたハンドル。角が無く、手に馴染む握り心地です。

最軽量クラスの軽さ

本体重量は約0.53kgと、電気式コーヒークトルとしては最軽量クラスの軽さです。ドリップ時の負担を軽減します。

場所を取らないコンパクトサイズ

電源ベースは155mm角と大変コンパクトなので、設置スペースを取りません。

本体はコードレス

電源プレートから外せば本体はコードレスなので360°どの方向からでも着脱可能で、自由に扱えます。

スリムボディ

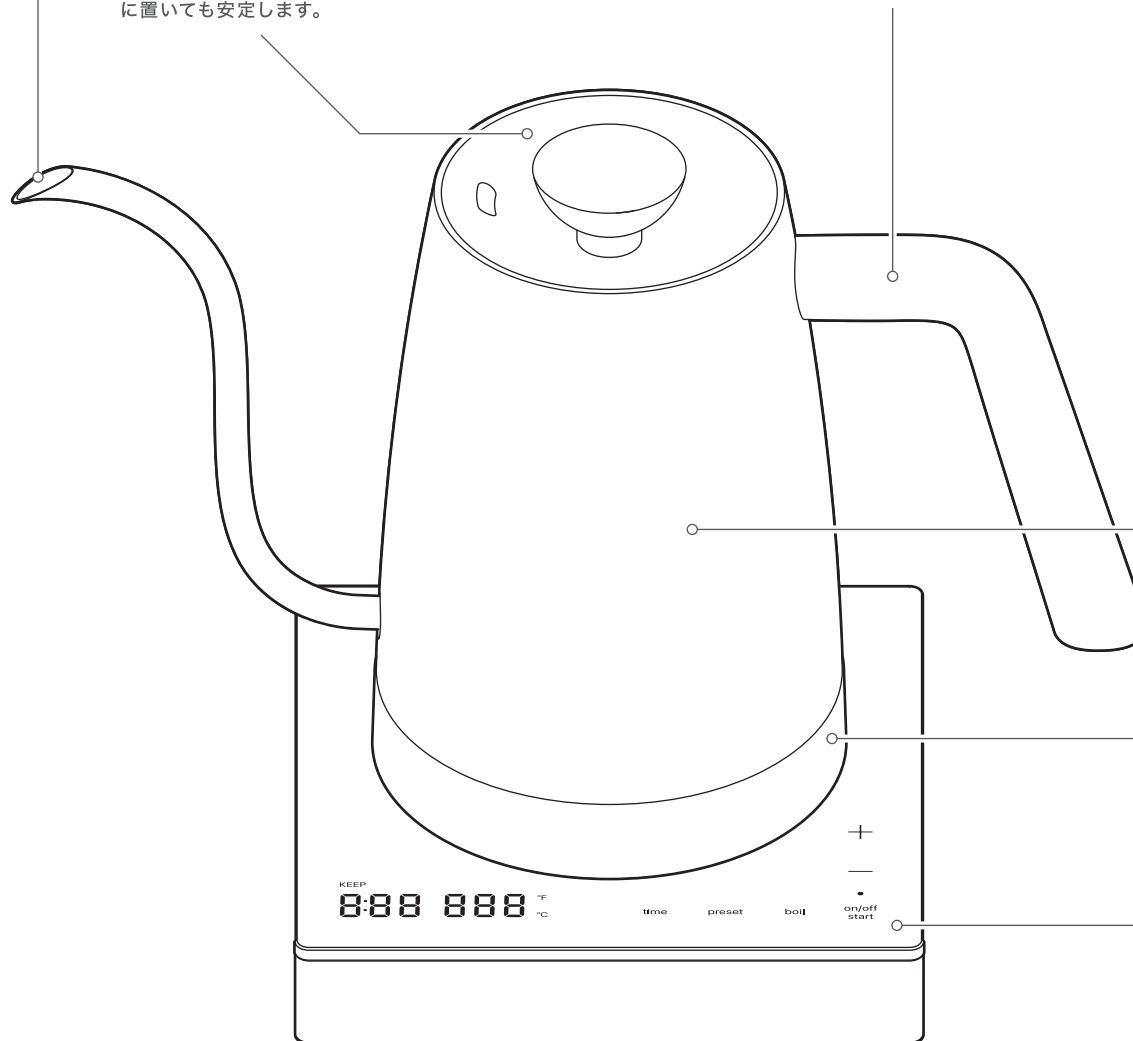
細身のため使用中に内部の水が攪拌されにくく、攪拌による遠心力がかかりにくいいため、重心が安定します。

保護クッション

本体の底面にはシリコンゴムクッションがついており、置いた時の衝撃を和らげます。

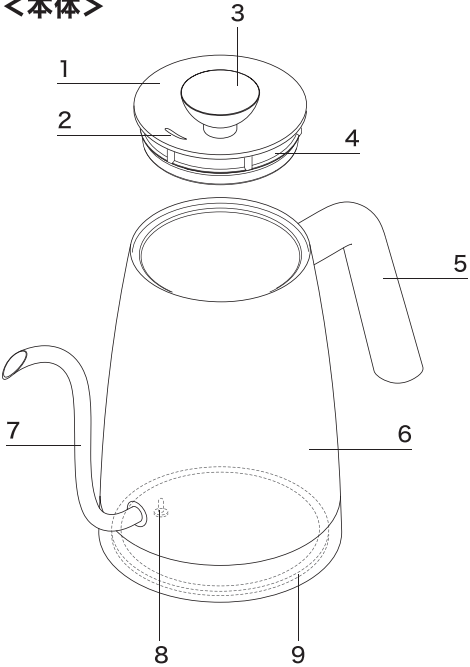
強化ガラス製の操作パネル

操作パネルは一面強化ガラス製です。汚れがたまる凹凸が無く、さっと吹くだけで清潔に保つことができます。



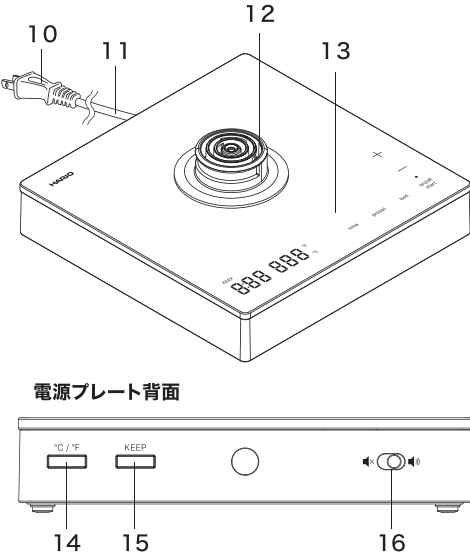
各部の名称

<本体>



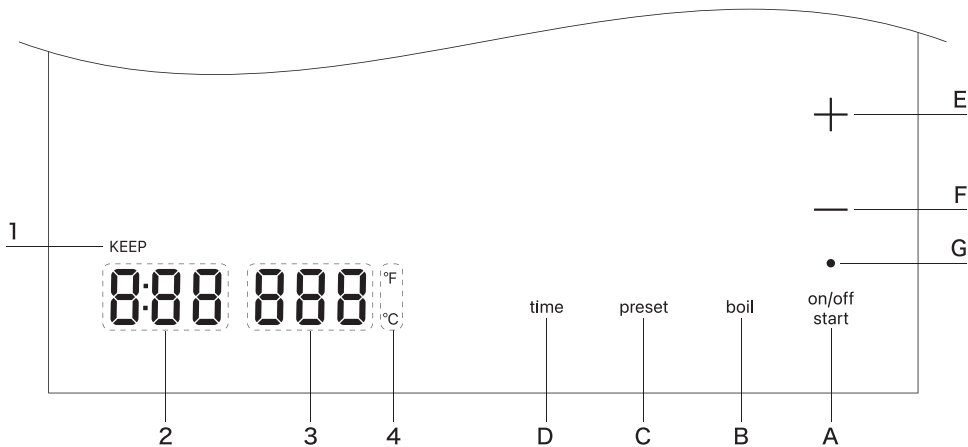
- 1.フタ
- 2.蒸気穴
- 3.フタツマミ
- 4.フタパッキン
※フタから外さないでください。
- 5.ハンドル
- 6.ケトル本体胴部
- 7.ノズル
- 8.温度センサー
※強い力や衝撃を与えないでください。
故障の原因になります。
- 9.シリコンゴムクッション

<電源プレート>



- 10.電源プラグ
- 11.電源コード
- 12.電源コネクタ
- 13.操作パネル
- 14.摂氏/華氏切替スイッチ：
押す度に摂氏/華氏表示切替
- 15.KEEP機能切替スイッチ：
押す度にKEEP機能のON/OFFを切替
※KEEP機能とは、本体を電源プレートに戻す
度に自動で設定温度まで加熱される機能です。
- 16.MUTEボタン：
ボタンを「M」にスライドすると操作音・加熱終了音がOFFになります。
※MUTE時でもタイマーの通知音は鳴ります。

<操作パネル>



1.KEEP 機能 ON 表示	KEEP 機能 ON 時点灯
2. 実水温・タイマー表示	加熱時=実水温表示 timeボタン短押し=ストップウォッチを表示 timeボタン長押し=タイマーを表示
3. 設定温度表示	設定温度を表示します
4. 摂氏 / 華氏表示	摂氏 (°C) / 華氏 (°F) を表示します
A. 電源ボタン (on/off start ボタン)	電源切時に短押しで電源入 電源入時に短押しで加熱開始 電源入時に2秒長押しで電源切
B.boil ボタン	短押しで 100°Cまで加熱
C.preset ボタン	短押し：プリセット湯温呼出 (95/90/80/70/60/→95 に戻る) 長押し：プリセット湯温カスタムモード→＋で温度変更、再度長押しで変更 保存
D.time ボタン	短押し：ストップウォッチスタート 長押し：タイマーに切替 (タイマーセット後短押し：タイマースタート)
E.+ボタン	温度設定時：設定温度を上げます (長押しで速く上がります) タイマー設定時：設定時間を増やします (短押し：10 秒 長押し：1 分)
F.－ボタン	温度設定時：設定温度を下げます (長押しで速く下がります) タイマー設定時：設定時間を減らします (短押し：10 秒 長押し：1 分)
G.加熱・保温ランプ	加熱中：赤に点灯 保温中：緑に点灯

ご使用方法

ご使用のまえに

初めて使用する際には

初めて使用する際や臭いの気になる際は、ケトル本体の中をよくすすぎ洗いし、念のため一度お湯を100℃まで沸かし、動作を確認してください。確認できましたらそのお湯は捨ててください。

温度表示の誤差について

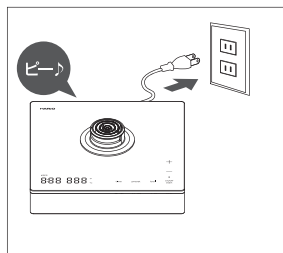
本製品は、温度制御方式上のばらつきや使用環境の違い等により、表示される水温と実際の水温に誤差が生じることがあります。

99℃～100℃での保温設定について

本製品は、設定温度で加熱した後に保温されますが、99℃～100℃で温度設定した場合は、実際には98℃前後で保温されます。

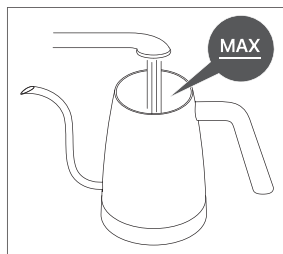
1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

電源プレートは平らな安定したところに置いてください。
コンセントに差し込むと、ピーッと音が鳴ります。



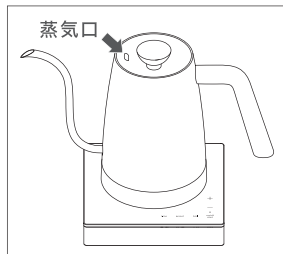
2. ケトル本体に水を入れる。

入れる水の量は0.3L以上、0.8L以下としてください。
水を入れすぎますと、ふきこぼれる恐れがあります。また、少なすぎると湯沸し機能が正常に働かない場合があります。
電源プレートの上にケトル本体をセットした状態で水を注がないでください。



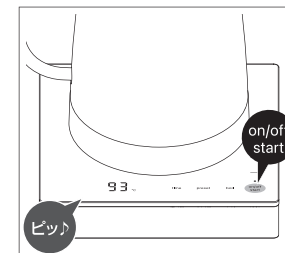
3. フタをして電源プレートの上へセットする。

蒸気口が注ぎ口側になるようにフタをセットしてください。蒸気口からは高温の蒸気が出ます。ハンドル側にセットすると、注ぐ際にやけどをする恐れがあります。
電源プレート・電源コネクタ部分に異物がはさまっていないこと、電源コネクタ部分が完全に乾いていることを確認してからセットしてください。



4. 電源ボタンを押す。→前回設定した温度が表示されます。

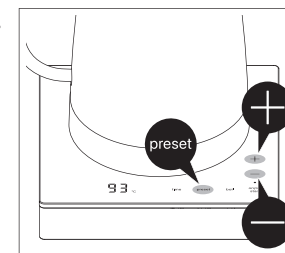
ビッと音が鳴り、表示パネルに前回使用した設定温度が表示されます。



5. 「+」「-」ボタン、または「preset」ボタンを押して希望の温度を設定する。

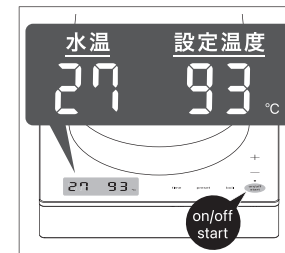
前回使用の温度表示がされたら、右側の「+」「-」ボタンで1℃ごとの温度設定ができます。また、「preset」ボタンでプリセットされた温度設定ができます。設定可能な温度は38～100℃です。

- ・「preset」ボタンを押す度に95/90/80/70/60/→95に戻ります。
- ・「boil」ボタンを押すと100℃までの加熱がスタートします。



6. 電源ボタンを押す。

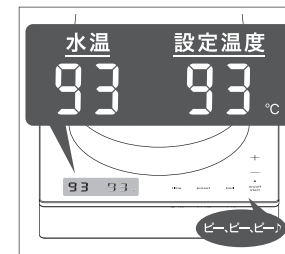
「ビッ」と音が鳴り、加熱が始まります。加熱ランプが赤色に点灯します。
表示パネルに水温と設定温度が表示されます。
加熱をキャンセルする場合は、電源ボタンを押してください。



7. 設定温度に達し、加熱終了。

設定温度に達すると、ピーツ、ピーツ、ピーツ、と音が3回鳴り、加熱ランプが赤色から緑色に変わります。
その後、15分間の保温が行われます。
保温中は設定温度が表示されます。
15分の保温終了後にビッと音が鳴り、加熱ランプが消えます。

- ・KEEP機能OFF時はケトル本体を電源プレートから外すと、その後ケトル本体を戻しても再加熱、保温はされません。
- ・KEEP機能ON時はケトル本体を電源プレートから外し、その後ケトル本体を戻すと再加熱、保温されます。※設定温度に到達する前にケトル本体を電源プレートから外した場合には再加熱・保温されません。



ご使用方法（続き）

KEEP 機能について

KEEP機能とは、設定温度に到達後、本体を電源プレートに戻す度に自動で設定温度まで再加熱される機能です。設定温度に到達する前にケトル本体を電源プレートから外した場合には再加熱されません。電源プレート背面の「KEEPボタン」を押す度にKEEP機能のON/OFFを切り替えることができます。KEEP機能がONのときは操作パネルの「KEEP機能ON表示」が点灯します。

保温中の操作について

保温中は、温度設定ボタン※は機能しません。
すぐに設定温度を変えて加熱したい場合は、一度電源ボタンを長押ししてオフにしてから操作してください。
※「+」「-」ボタン、「preset」ボタン、「boil」ボタンを指します。

保温終了から 10 分間（オートパワーオフ機能が働くまで）の操作について

保温終了から10分間は保温ランプ（緑色点灯）が消え、実水温が表示されます。

前回と同じ設定温度まで再加熱をしたい場合

1. 電源ボタンを押すと加熱が始まります。

設定温度を変更し再加熱をしたい場合

1. お好みの湯温へ「+」「-」ボタン、または「preset」ボタンで温度設定をします。
2. 電源ボタンを押すと加熱が始まります。

使用中にケトル本体を電源プレートから外した際の動作

実水温表示に「- -」が表示され、そのままケトルを戻さずに10分経過した場合、オートパワーオフ機能が働きます。10分以内にケトルを戻した場合、実水温が表示されます。

- ・KEEP機能OFF時はケトル本体を電源プレートから外すと、その後ケトル本体を戻しても再加熱・保温はされません。
 - ・KEEP機能ON時はケトル本体を電源プレートから外し、その後ケトル本体を戻すと再加熱・保温されます。
- ※設定温度に到達する前にケトル本体を電源プレートから外した場合には再加熱・保温されません。

オートパワーオフ機能について

操作や動作が10分間何もなかったとき、自動で電源を切る機能がオートパワーオフ機能です。15分間の保温が終了した後からカウントされます。
表示面に「OFF」と表示され、ピーツと鳴った後、表示が消え、電源が切れます。

空だき防止機能について

水が入っていない状態で加熱がされている時、それを検知し自動的に加熱を止める機能が空だき防止機能です。空だき防止機能が作動した際、すぐには表示は変わりませんが、しばらく経つとピーピーと音が鳴り、「HHH」と表示されます（本体が冷めるまで表示されます）。
表示が消えてから水を入れて再度使用してください。

ストップウォッチ（カウントアップ）の使い方

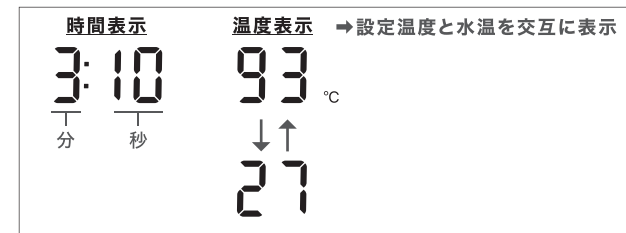
1. 「time」ボタンを押すとストップウォッチが起動します。
2. 9分59秒までカウントアップした後0分0秒に戻り、ループします。
3. 再び「time」ボタンを押すと終了します。

タイマー（カウントダウン）の使い方

1. 「time」ボタンを2秒長押しするとタイマーが起動します。前回設定した時間が表示されます。
2. 「+」「-」ボタンを押して、希望の時間を設定します。短押しで10秒毎、長押しで1分毎の設定が可能です。（設定可能範囲は0分10秒～9分50秒の間です。）
3. 希望の時間を設定後、再度「time」ボタンを押すとタイマーのカウントダウンが開始します。
4. カウントダウンが終わるとピーツ、ピーツ、ピーツ、と音が3回鳴り、元の表示に戻ります。

ストップウォッチ、タイマー使用中の表示について

加熱中に起動した際の表示



保温中に起動した際の表示



プリセット温度の変更方法

本製品は「preset」ボタンにあらかじめ希望の温度を5つまで保存しておくことができます。
初期設定値は95/90/80/70/60℃です。下記の手順でプリセット温度を変更することができます。

1. 「preset」ボタンを押して、変更したい設定温度を選びます。
2. 「preset」ボタンを長押しすると設定温度が点灯から点滅に変わり、設定温度を変更できる状態になります。
3. 「+」「-」ボタンを押して希望の温度に変更します。
4. 再度「preset」ボタンを長押しし、設定温度が点滅から点灯に変わると変更が保存されます。

お手入れの方法



お手入れは必ず電源プラグを抜き、ケトル本体が冷めた状態で行ってください。

ケトル本体外側・電源プレートのお手入れ

- ・乾いたやわらかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、かたく絞った布で拭き取ってください。丸洗いやシンナー・ベンジン灯油などの有機溶剤、研磨材入り洗剤の使用はおやめください。
- ・故障の原因になりますので、水をかけたり、水の中に入れたりしないでください。
- ・銀製品やアルミ製品等の異なった金属製品と接触したまま置くとサビの原因になりますので、ご注意ください。

電源プレート強化ガラスのお取り扱い上の注意

- ・強い衝撃を与えないでください。
- ・ガラスを捻ったり、曲げたりのような、無理な力を与えないでください。
- ・刃物などの鋭利な物で、ガラスに衝撃を与えない下さい。
- ・ガラスの表面がえぐれるような傷や、欠けが発生したら、ご使用を中止してください。
- ・ガラス面に著しい急激な加熱や冷却が発生する行為を行わないでください。

ケトル本体内側のお手入れ

- ・ケトル本体内側の白い汚れは、水に含まれるミネラル成分が固着したものです。衛生上問題はありませんが、定期的に以下の方法でお手入れをしてください。
 1. 水をMAX目盛(0.8L)まで入れ、その中にクエン酸を30g程度入れてかき混ぜます。
 2. フタを閉めて沸騰させ、その後約1時間放置します。
 3. お湯を捨て、水でよくすすぎます。汚れが残っている場合は、スポンジ等で拭き取ってからよくすすぎます。
 4. クエン酸のにおいが気になる場合は、さらに水でよくすすいでから再度水を入れて沸騰させてお湯を捨ててください。
- ・本製品は食器洗い乾燥機のご使用ができません。
- ・ケトル本体底面に温度センサーがあります。強い力や衝撃を与えないでください。

故障かな？と思ったら

ご使用中に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、ご使用を中止してください。
その後、本体が冷えてから、下記の内容をチェックしたうえ、症状が改善しない場合は弊社「ご相談窓口」にお問い合わせください。

状態		予想される原因	対処のしかた
電源が入らない。		電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
加熱ができない。		ケトル本体が電源プレートに正しく載っていない。	正しく電源プレートにケトル本体を載せてください。
温度調整・保温時の水温が設定温度よりも高い。		ケトル本体の水が最小容量より少ない。	ケトル本体の中に水を0.3L以上注ぎ、電源を入れてください。
保温しない。		電源プレートからケトル本体が離れると自動的にヒータースイッチが切れます。	ご使用方法の「使用中にケトル本体を電源プレートから外した際の動作」をご参照ください。
		保温時間 15 分が経過している。	保温モードは 15 分間です。
ハンドルがぐらつく。		ケトル本体とハンドルの取付け部分に異常が出ている。	ただちに使用を中止し当社のご相談窓口までご連絡ください。
表示エラーについて		ケトル本体に水がない。	エラー表示は本体が冷めるまで表示され続けます。表示が消えてから水を入れて再度使用してください。
		水以外（油分等）を入れている。温度センサーが故障している。	必ず水を使用してください。水を使用しても改善されない場合、ただちに使用を中止し当社のご相談窓口までご連絡ください。
		水以外（油分等）を入れている。温度センサーが故障している。	必ず水を使用してください。水を使用しても改善されない場合、ただちに使用を中止し当社のご相談窓口までご連絡ください。
		ヒーターが故障している。	ただちに使用を中止し当社のご相談窓口までご連絡ください。
		温度センサーが故障しており、温度調整ができない。	ただちに使用を中止し当社のご相談窓口までご連絡ください。
		安全回路が働き動作を停止している。	ただちに使用を中止し当社のご相談窓口までご連絡ください。

●高地や寒冷地では性能が確保できない場合があります。そのような場所での使用はなるべくお避けください。

このような症状はありませんか？	
●電源コードやプラグが異常に熱くなることがある。 ●電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりすることがある。 ●焦げ臭いにおいがすることがある。 ●その他の異常や故障がある。	ただちにご使用を中止し電源プラグをコンセントから抜き、正常に動作しない時は必ず当社のご相談窓口までご連絡ください。お客様ご自身での分解、修理などは大変危険ですので絶対にしないでください。

製品仕様

電源	AC100V 50/60Hz 共用
定格消費電力	1200W
最大容量	0.8L
最小容量	0.3L
サイズ（約）	幅 280mm × 奥行 157mm × 高さ 210mm
重量（約）	1.1kg
コード長さ（約）	1.2m
材質	ケトル本体胴部・ノズル / ステンレス ハンドル / ABS 樹脂 フタ / ポリプロピレン・ステンレス フタツマミ / ポリプロピレン フタパッキン・シリコーンゴムクッション / シリコーンゴム 電源プレート / ABS 樹脂・強化ガラス・シリコーンゴム
原産国	中国

アフターサービスについて

1. 保証書について

この取扱説明書には保証書がついています。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日より 1 年間です。

2. 修理を依頼されるとき

必ずご相談窓口までご一報ください。保証書の記載内容に基づき当社で無償修理致します。保証期間を過ぎている場合は、有償修理となる場合があります。

■ご相談窓口

HARIO 株式会社

〒103-0006
東京都中央区日本橋富沢町9-3
ナビダイヤル: 0570-022-555
<https://www.hario.com>